

第3回 グループホーム北陽運営推進会議

日時：令和6年 8月22日(木) 14:00～

場所：グループホーム北陽 1F ホール

参加者：

出雲市役所 高齢者福祉課	1名
川跡コミュニティセンター	0名
鳶巣コミュニティセンター	0名
協力医療機関 園山医院	1名
ご家族様	0名
グループホーム北陽	3名
ご利用者様	1名

※第3回はご案内させていただいた方が急遽欠席となっております。

〈協議事項〉

(1) 施設運営の状況報告

・現在1階7名、2階6名、計13名が入居されております。平均介護度は1階2.7、2階2.8。

待機者は14名いらっしゃいますが、新規職員採用に合わせて、随時ご案内させていただく予定です。

入居前それぞれが様々な場所から入居されておりますが、その際1番悪い状態でご入居となることが多いです。一人一人の方に密に関わることで、その方を知り、その方のつまづきは何かを考え、その方に出来る事出来ない事、困りごとを見極めながら、一人一人の方に合った支援、一人一人の人が自分らしく生活できるよう、また些細なことでも一緒に笑い、一緒に楽しむ関わりを持っています。その一瞬一瞬を大切にしています。少しの工夫、配慮、お手伝いでその方が自分らしく最大限の力を発揮できるよう、日頃の気づきやカンファレンスを行いながら、その方に合った支援を探っています。

・行事について

実施	7月 8月	七夕会、外出(花の郷)、調理レク 夏祭り、外出(地域鳶巣夏祭りへ参加)、調理レク ダンス・よさこい慰問
----	----------	---

・七夕会に向け、皆さんで短冊を書いたり、飾りつけを行いました。一人一人の方が希望や願い事、食べたい物、ご家族の健康を願って書かれました。また七夕会メニューとして、皆さんが食べたい・作りたい料理を皆で作りました。短冊のこよりは日頃から編み物が好きな方が作られた編みひもを使わせて頂き、「自分が作ったものを使ってもらえて嬉しい。」と喜んでいらっしゃいました。このように、「誰かを喜ばせたい、誰かの役に立ちたい」と思われる気持ちを大切にしたいと改めて感じたところです。献立(サンドウィッチ、シチュー)から皆さんで考え、パンに挟みたいものを選んで挟んで頂きました。7月の外出では、熱中症対策や感染対策を行いながら、「花の郷」に出掛けてきました。花の郷ウィークとし、1日3名ずつで出掛けて参りました。花の郷ではひまわりやトキ等の鑑賞だけでなく、ちょっとした遊具もあり「何十年ぶりだろうか…今はもうできないかな…」と仰いながらも、利用者様と一緒に滑り台をするなど、懐かしい気持ちと、できないだろうと思ったことを行える機会となりました。

・夏祭りにおいても皆の食べたい・作りたい料理とし、手巻き寿司とおいなりさん作りを皆で行いました。「昔こうやってつくったものよ。」とそれぞれの方が役割を持ち、各ご家庭で作られていた「お寿司」が出来たと思います。また、地域の夏祭り(鳶巣夏祭り)に施設主治医であり、運営推進委員である園山医院園山先生より、お声掛け頂き、先生に診ていただいている利用者様数名と出掛けて参りました。夕方から夜にかけて初の外出でした。

が、催しなど地域の方と一緒に楽しませていただきました。民謡や三味線の催しでは、利用者様も歌がお好きで、長い間舞踊の師範をされていた方、銭太鼓をされていた方が一緒に歌われたり、舞台に上がりたいと仰るほどでした。

・よさこい慰問では、一緒に簡単な手遊びを行ったり、歌を歌ったり、よさこい鑑賞をしました。口ずさまれたり、鳴子を持って可能な範囲で身体を動かされたり、皆さんが喜んでいらっしゃいました。慰問者が帰られる際は、「元気で頑張ってね。またいつでもここに遊びに来ていいから。待ってるからね。」と仰い、改めて利用者様がここ「北陽」を居場所にして下さっているように感じました。

・研修について

実施	7月	・～良い例・悪い例～パーソン・センタード・ケアの基本的理解 ・リーダー向け研修～介護現場における OJT 教育の指導方法、 考え方、進め方～
	8月	・生活場面(食事・入浴・排泄)ごとの生活障害の理解とケア

認知症について理解や知識を習得しているようで、なかなか日頃の支援の場面ごとに、職員のつまづきも少なくありません。分かっているけど実際うまくいかないことも多くあり、現場の事例を用いながら勉強会を行いました。ベテラン職員から経験が浅い職員、中堅職員とおりますが、認知症の基礎の部分において、まだまだ浸透しきっていないと改めて感じました。今後の勉強会では、おさらいも兼、基礎知識を強化していきたいと思えます。

(2) 意見交換

❖出雲市高齢者福祉課

Q : 調理レクは昼だけ行っていますか？

A : 昼食の時もあれば夜食の時もあります。今のところ行事を行う際は、手作りでみんなが食べたい料理としていますが、目標は週1回、調理レクができるといいと考えています。

感想 : 事例に関して、自分の目で見て、自分で行うことは、納得してできたのではないかと思います。

❖協力医療機関

Q : 事例について、本人の気持ちをどう聞き出したか？

A : 日頃のご本人様との関わりや、何気ない会話、居室に訪室しその時の表情や訴え、またゆっくり話を聞かせていただけるよう、毎日の関わりを大切にしました。ご家族様の思いや、分かっているけど理解しきれない部分のフォローを行いながら毎週お話をしました。親子喧嘩をされることもあり、ご本人様とご家族の気持ちのズレがありながらも、双方のお話を伺いながら、気持ちの架け橋やご家族様とご本人様がお話される際は、ご希望があり同席もさせて頂きました。

(3) その他

・出雲医療専門学校の実習受け入れを行います。9月予定

・再開所して半年経過しましたので、「家族会」をしたいと考えています。その際には運営推進委員の方にご協力頂くことがあるかと思っておりますので、その際はよろしくお願い致します。市内のコロナ等の感染状況を見ながら、施設主治医とも相談させて頂きながら企画して参ります。

・身体拘束委員会、感染対策委員会を3ヶ月に1回行い、日々のケアについて振り返りを行っております。

次回運営推進会議予定

令和6年10月17日(木)14:00～ 2Fホールにて